

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○	○	・不十分だが活動内容と利用者の状態によりスペースを工夫している。 ・仕切りはあるが、ワンフロアなので利用者さんも周りがきになってしまう。 ・柵の活用で活動と休息スペースを効果的に利用。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	○		・ほぼ。 ・基準以上の配置。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	○		・月に一度のカンファレンスで広く職員が参画して振り返りの場を作っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	○		・現在実施中。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに掲載予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者を保護者評価と捉えていく方向。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	○		・外部研修についても参加申し込みをしている。その他、情報を職員間に広報している。 事業所内において人権擁護、救急法などについて研修した。今後、更に研修内容を検討実施していく。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・全体カンファレンスを通して分析し計画に結び付けている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	○	○	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○		・月ごとに個性のあるプログラムが考案されている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○		・月ごとに担当を決めて立案。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○		・限られた時間の中、個別活動の時間が十分確保できない。個別支援計画の中での課題目標を日常生活の中に結び付けての取り組みは出来ている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・今後も内容、分担、目的、情報共有を大切にしてい
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	○		・毎日の振り返りは出来ていないが、気付いた点は情報共有、課題提起出来ているのではないかと。(朝会や連絡ノート、記録を活用)
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○		・十分な検証・改善までに至っていない。支援したことその考察についての記録を心がけていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○		・カンファレンスを活用できている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○	○		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○		・管理者またはサビ管が出席し、医ケア児者には看護師が出席できるよう配慮している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・今後も大切に適切におこなっていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・指示書が主であるが必要時は外来へ連絡を取っている。訪問看護が入っているケースはそちらへ連絡体制を確保した。協力医療機関とは地域連携室と十分な連携体制を依頼済み。今後、保護者の承諾をいただきながら更に医療機関と連携体制を整えていく予定。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・該当年齢利用者なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○		・移行支援会議へ出席し、情報提供と情報収集を行っている。 ・退所される利用者さんについて、移行する事業所にこれまでの支援内容等を提供していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	○	・今後検討。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	○	・今はないが検討。社会参加は今後も大切にしていきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		○	・今後も積極的に参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・今後もノートを活用したりコミュニケーションを図っていく。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・十分ではない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・積極的に関わり協力できるようにしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○	○		・迅速かつ適切な対応を心がけます。
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・お便りやホームページ、掲示板や写真など通して情報発信している。但ホームページについてはリニューアル中。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・今後も十分な注意が必要。個人情報の取り扱いについては書面で確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者の結果との相違もあるため、保護者会を通して要望をうかがっていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	○	・地域のボランティアセンターと繋がり、登録団体の方にお越しいただいている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		・力を入れて取り組んでいたが、保護者への周知は十分ではなかった。今後の課題である。 ・防犯マニュアルについては今後検討が必要。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・今後も様々な災害を想定し何度も繰り返し訓練する。また繰り返すことで検討改善していく。	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○		・外部研修での報告と共有をしている。 ・事業所内研修をおこなった。今後も重要視していく。	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		○	・4月より保護者全員に身体拘束について再確認をしていく予定。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・小さなヒヤリハットでも大きなものに繋がらないよう情報共有、気付きの記録として今後も全員で大切に共有していく。	